

26-1 ReCotto-Aqua(リコッタアクア)

特長 使う側の立場で考えた3つの経済性

01. 通信コストのミニマム化

月々のLTE通信費用を最小化する海面ネットワーク構造を採用。
通信データ量によってランニングコストが変動することはありません。

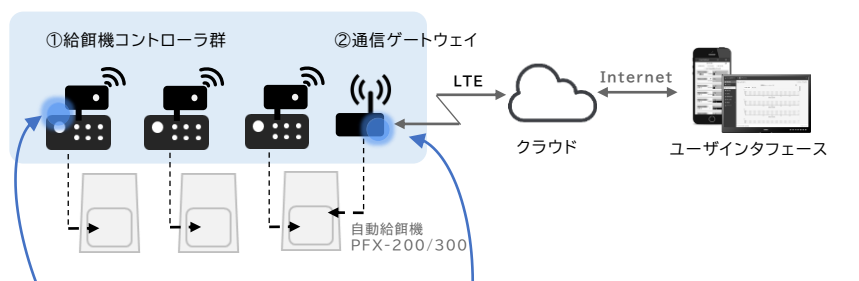
02. メンテナンス工数のミニマム化

餌残量は勿論のこと、バッテリー電圧も「見える化」してタイムリに現場を検知。
バッテリー切れによって給餌機が稼働していなかった事例を回避できます。

03. 消費電力のミニマム化

永年、半導体に携わってきた集団がシステム設計し、超低消費電力設計を実現。
現在、給餌機に搭載されているバッテリーシステムのままスマート機能を付加可能。

誰でも使える 給餌機にプラグインするだけ



①給餌機コントローラ (各給餌機に設置) ②通信ゲートウェイ (隣接する漁場で1台)

■R-SN01 (Sensor/Mesh network)

- 餌残量・蓋開閉状態を監視
- Mesh networkでGatewayと通信
- Feed Controllerを制御

■R-CT01 (Feed Controller)

- 遠隔操作により給餌モードを任意に変更
- 物理スイッチによる給餌操作機能(LED表示付き)
- バッテリー電圧を監視

■R-G01 (Gateway)

- LTEでクラウド環境と通信
- 各給餌機とMesh networkで通信

※ 各給餌機の距離が大凡50m以内であれば
通信ゲートウェイ1台で最大50台の給餌機を
管理・制御できます。

導入による効果 時間を捻出し成長スパイラルへ

01. ReCotto-Aquaを実装するコトにより時間を捻出
02. 魚を見る時間が増えるコトで生産性が向上
03. 生産効率が高まるコトで収益がアップ
04. 収益がアップするコトで投資する原資が生まれる
05. 継続投資していくコトでスマート化が促進
～雇用だけに頼らない“持続”手段を手中に～

価格 スモールスタートでも大きな効果

- 基本機能 【監視】 餌残量、バッテリー電圧、蓋開閉
【制御】 給餌時間、給餌量(任意に設定可能)
【管理】 監視状況や制御状態、推移など

【価格例】 隣接する漁場で30台設置する場合

- 月額費用 **90,000円**(税抜)
給餌機コントローラ 3,000円 × 30台
- 初期費用 **1,680,000円**(税抜)
通信ゲートウェイ 30,000円 × 1台
給餌機コントローラ 50,000円 × 30台
初期設定・手数料 150,000円

技術カスタマイズ 無

お問合せ先

【販売代理店】株式会社 SEAGATE
TEL 0969-72-6152
e-mail info@818seagate.com